

環境カウンセラーちば

第61号
 特定非営利活動法人
 環境カウンセラー
 千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
 地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

〔冒頭挨拶〕

2023年度環境カウンセラー千葉県協議会運営方針 -岐路に立つEC千葉と環境カウンセラー-

理事長 吉田昌弘

NPO法人としての当協議会は、今まさに岐路に立っていると言っても過言ではないと思います。

環境問題が抱える課題は限りなく広く、多くの難問が顕在化しつつある今、カウンセラーの役割は以前にもまして重要になっていると感じています。そこには、いくつもの課題が内在していますが、乗り越えるための打開策を皆さんと共に検討し実行していく時期にきています。

1. 一緒に活動できる人材の確保：

これまで活躍してこられた諸先輩方が、高齢化により引退ないし退会をされはじめています。

i) ましてや、環境問題は巾広く単純には解決しにくい分野であることも相まって、若手カウンセラーの養成不足、その登用も極めて難しくなっていることが挙げられます。

ii) 個人情報保護法という高い壁も、環境に関心ある人材を探しづらい要因の一つです。同時に新規カウンセラー登録者が激減しているということもあります。

喫緊の課題として若手・女性の会員も募りながら、皆さんと一緒に持続可能なEC千葉の確立に向け取り組んでいきます。

2. 運営基盤の強化：

i) ステークホルダーである中小企業の方々や学校・大学などの教育関係、一般家庭等の各層からのニーズに応えられること、それもカウンセラーの重要な役割になります。

一人ではなく、仲間と一緒に対応できる仕組みを強化・充実していきます。

ii) 安定的な組織としての事業の確立を目指し、いくつかの柱を中心に健全な運営を行えるようにする。

例：中小企業を対象とした環境マネジメントシステムのセミナーの実施や拡充、先取りを指向した環境省の家庭の省エネ推進である「うちエコ診断」事業の拡充など。それには、効果的なPRと参加者や受診者の勧誘が必要で、地元会員の協力と支援が不可欠です。

3. 一般市民への認知度の向上、共同企画や成果の発信：

i) 講演会や自然観察会などの一般公募も範疇に参加者を募り、認知度を高める。

ii) 県・市町村などの自治体や企業との協働可能な案件の企画や受託の促進を図る。

iii) HPの充実、動画での発信などで、一般市民へのアプローチも積極的に行う。

4. EC千葉の2023年度の目標：

直近の2030年度▲50%の高みを目指すCO2削減、そして2050年のカーボンニュートラルの目標を見据え、「カウンセラーとしてやりがいのある活動」を如何に産み出せるか。が正念場です。

1) 各部・各センターは、環境保全や環境教育・循環型社会への課題にツールとしてのSDGs 17の項目から目標を選択し、自らロードマップの作成・実行を試みる。

2) 県および地元自治体の環境基本方針/実行計画等を理解し、EC千葉が協力・支援できる企画・提案や講演・セミナー等の講師派遣、教育機関への普及・啓発活動を行う。

3) 各部・各センター・実施機関は、それぞれの持ち場で「感謝され実効ある成果」をHPなどに掲載し、環境問題に関心のある次世代の皆さんに訴えかけ、仲間に入ってもらえるよう努力する。

今後、「環境」という切り口は、あらゆる分野でキーワードになってくると思われます。

「楽しく魅力ある活動」があつてこそ、若手からの環境カウンセラーの応募に繋がるのではないのでしょうか。

お互いに関心ある分野やテーマで共有し合える仲間と共に、目標に向かって励まし合いながら共に歩んでいくこと、これこそが環境カウンセラーとしてEC千葉の目指す姿ではないかと考えます。

皆さんと共に、環境カウンセラーの使命を發揮し、持続可能な社会・持続可能なEC千葉を目指して頑張りましょう！

第21回通常総会および総会特別講演会の開催

第21回通常総会および総会特別講演(環境セミナー)を2023年5月21日(日)に千葉商工会議所会議室(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館13階)において開催しました。

新型コロナウイルスの感染が終息していないため、会議室でのリアル開催とインターネットシステムを利用したオンライン開催とを併行して、特別講演の講師講演と総会における議事の進行をオンラインで配信しました。なお、特別講演は、環境公開講座としてEC千葉会員以外の方にも公開して実施しました。

I. 総会特別講演会(2023年5月21日(日)13:30~15:10)

<演 題>「熱帯の海と異常気象」

<講 師> 国立研究開発法人海洋研究開発機構 特任上席研究員 東京大学名誉教授 山形俊男氏
[講演内容については5ページの実施報告記事をご覧ください。]

II. 通常総会(2023年5月21日(日)15:30~16:10)

(1) 開催形式 総会会場での実会議とインターネットシステムを利用したオンライン会議(Web 会議)との併行開催。議決は定款29条第2項に定める書面による表決とした。

(2) 出席者数 正会員総数68名に対し、書面による表決者45名(うち、表決委任者7名)

(3) 審議事項(本総会に提案され、書面による表決に附した議案は次の4議案)

第1号議案 2022年度事業報告ならびに決算報告

第2号議案 2022年度監査報告

第3号議案 2023年度事業計画案ならびに収支予算案

第4号議案 役員を選任

(4) 議案の審議および議決の結果

吉田理事長が議長となり、上記4議案を審議した。

議案に対する書面による異議の申出はなく、またオンライン会議において質問あるいは意見の発言がなかったため、書面による表決結果(表決者総数45名のうち、議案に賛成38名、議長委任者7名、議案に反対なし)を受け、議長は書面表決の賛成と議長委任を合わせた45名が賛成とし、出席した正会員の過半数をもって議決するとの定款第28条第2項の定めに基づき、第1号議案、第2号議案、第3号議案および第4号議案の4議案が原案通り承認された。

(5) 役員就任と役職の任命

第4号議案で役員に選任された役員候補者全員がその就任を承諾し、理事あるいは監事に就任した。

(任期は次々回・2025年通常総会において次の役員が選出されるまでの約2年間)

[理事] 青木 誠(重任)、阿部 勲夫(重任)、有馬富穂(新任)、生野宏(新任)、井町臣男(重任)、
 瀧端 尊史(重任)、河井 恵子(重任)、國廣 隆紀(重任)、小林 亨(重任)、捧一夫(新任)、
 佐藤 ミヤ子(重任)、中嶋滋(新任)、橋本 正(重任)、服部 達雄(重任)、山畑 祐哉(重任)、
 吉田 昌弘(重任)、以上16名

[監事] 戸村泰(重任)、濱中道人(新任)、以上2名

この役員改選を受けて、5月21日総会に続いて臨時理事会を開催し、定款に従い理事長に吉田昌弘理事、副理事長に山畑祐哉理事、河井恵子理事、佐藤ミヤ子理事の3名が互選されました。

次いで運営細則に定める各役職を選任し、次ページに記載する各役職者が理事長から任命され、さらに、定款に定める顧問に荒野喆也氏、土田茂通氏が、アドバイザーに倉田智子氏、佐藤素子氏、野口久氏が推薦され、理事長から委嘱することが承認されました。

特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会

役員・役職一覧

[理事任期：令和5年5月21日～令和7年通常総会]

役員

理事（16名）

青木 誠	阿部 勳夫	有馬 富穂	生野 宏
井町 臣男	潟端 尊史	河井 恵子	國廣 隆紀
小林 亨	捧 一夫	佐藤 ミヤ子	中嶋 滋
橋本 正	服部 達雄	山畑 祐哉	吉田 昌弘

監事（2名）

戸村 泰	濱中 道人
------	-------

役職

理事長	吉田 昌弘		
副理事長	山畑 祐哉	副理事長	河井 恵子
副理事長	佐藤 ミヤ子		
事務局長	井町 臣男	地球温暖化対策センター長	阿部 勳夫
事務局次長	服部 達雄	副センター長	橋本 正
		副センター長	服部 達雄
総務部長 兼 経理担当	河井 恵子	副センター長	中嶋 滋
副部長（経理担当）	小林 亨	副センター長	生野 宏
広報部長 兼 情報部長	山畑 祐哉	廃棄物対策センター長	中嶋 滋
副部長	服部 達雄	副センター長	潟端 尊史
副部長（HP 担当）	有馬 富穂	副センター長	國廣 隆紀
副部長（HP 担当）	秋葉 信夫		
		水環境対策センター長	井町 臣男
事業部長	佐藤 ミヤ子	副センター長	久保田 隆
副部長	河井 恵子	副センター長	捧 一夫
副部長（大多喜町PJ 担当）	國廣 隆紀		
		環境学習センター長	佐藤 ミヤ子
EMS支援センター長	山畑 祐哉	副センター長	捧 一夫
副センター長	青木 誠	副センター長	中村 仁
副センター長	服部 達雄	副センター長	志澤 達司
副センター長	橋本 正		
副センター長	國廣隆紀	うちエコ診断実施機関	
副センター長	小林 亨	責任者	吉田 昌弘
		同副責任者	佐藤 ミヤ子
ECU 担当	吉田 昌弘	同副責任者(オンライン担当)	中村 仁
EA21 地域事務局担当	服部達雄		
(顧問 2名)		(アドザーバー 3名)	
顧問	荒野 喆也	アドバイザー	倉田 智子
顧問	土田 茂通	アドバイザー	佐藤 素子
		アドバイザー	野口 久

2023年度各部・各センター活動計画

2023年度EC千葉事業部の取り組み

【本年度の活動二つの試み】

1. 「エコメッセ 2023 in ちば」：2023.10.15（幕張メッセ）への参加
 - 1) お答えしますコーナー：「環境カウンセラーって どんな活動をしているの？」
 - ① ほとんどの方々は、こんな疑問をお持ちではないでしょうか。
 - ② 出展された各部・各センターは、参加者との対話を通し、それぞれの活動を知っていただける機会にと考えている。
 - ③ 対話の材料は、得意とする分野でテーマを考え、それをツールに対話を試みる。
詳細は、出展希望の部・センターに一任。
(出展希望の部・センターは8/末までに事業部宛に申し出のこと)
 - 2) 前項1)で対話が出来た方に“一緒に活動して見ませんか”の一言を かけてみたい！
 - ① “考えてみます”とおっしゃる方も中にはいらっしゃるかもしれません。
 - ② 連絡先を教えて下さる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
 - ③ それぞれのイベントや、地元「環境フェア等」へのご案内も。
 - ④ エコメッセは、“一緒に活動できる新しい仲間を見つける機会“ としてもらえたらと考えている。

【事業部本来の役割=活動=が出来る体制構築を目指したい】

- 1) 事業部本来の役割の一つに、現イベントへの評価～実行～支援、かつ、新規事業の企画・推進等があると思う。
・いづれ可能なら、新規事業の立ち上げをも視野に入れておきたい。
(例) 「うちエコ診断事業」の県内啓発活動への拡大。
EC千葉各部門、かつ、他団体との連携を含めた「公開講座(講演)」等の開催。
- 2) また、会員地元のイベント「環境フェア」等への事業部からの応援・支援も役割の一つ。
＝しかしながら、現在は人的支援一つとっても出来る体制にないこの現実＝
- 3) そこで、今年度はお互いに抱えている課題などの可能な限りの共有化をはかりながら、“一緒に活動できる仲間さがし”を試みる年にしたい。

今すぐ実施できることは殆どないかもしれないけれど、目指す所に向けて皆さんの協力をいただきながら、出来る事から共に一步一步進んでいきたいと考えます。

ご理解とご協力、副部長の河井様共々どうぞよろしくお願いいたします。

(文責：事業部長 佐藤ミヤ子)

令和5年度環境カウンセラー募集の案内

環境カウンセラーの新規登録申請の募集が下記の要領で行われています。出来るだけ多くの応募があるよう、ボランティア活動や仕事でのお知り合いの方への紹介をお願いします。

- (1) 申請受付期間 令和5年7月3日(月)～年9月1日(金)
- (2) 募集要項、登録申請書の入手方法

次の環境カウンセラーWeb サイトからダウンロード

<https://edu.env.go.jp/counsel/counsel>

- (3) 登録申請書の提出先 [申請はE-mailのみ]

○環境カウンセラー全国事務局(特定非営利活動法人環境カウンセラー全国連合会)

E-mail : shinsei@kankyo-counselor.or.jp (TEL : 03-6280-5345)

大多喜町プロジェクト 2023 年度活動方針

第5回大多喜町環境教育プログラム わくわく探検隊～自然となかよし～

千葉県内で3番目に大きい養老川の最上流の「栗又の滝」がある大多喜町には、100万年前に海底であったことを示す老川露頭（おいかわろう）があり、春は桜とつつじの花がいっぱい、降雨量が多いためタケノコの産地でも有名で、夏は水辺の水遊び、秋は紅葉と、自然が満ちあふれています。

一方、本田忠勝で有名な大多喜城があり、さらには今から100年前に栗又の滝から水平方向に2,300mのトンネルを手掘りで掘って、起伏に富んだ地形で水の落差を作り、面白峡（おもじろきょう）小水力発電所を建設して、当時開通した小湊鐵道への通信や照明のための電力供給などを行い、昭和になってしばらく閉鎖されていましたが、再生可能エネルギーが重要視され10年前に復活稼働をしています。

このように豊富な自然、歴史とロマンに富んだ大多喜町周辺の南房総は、離農が進み人口は過疎化し、自然も荒廃するリスクがあります。

そこで、次代を担う子どもたちに、水辺の生きものしらべを行うことで多くの生きものがあることを体験してもらうことと、面白峡小水力発電所を見学することで再生可能エネルギーの重要性を認識してもらい、地域への愛着を深めてもらうために、2023年度は、8月6日(日)に第5回大多喜町環境プログラムをこれまでと同様に大多喜町教育委員会の後援のもとで、開催しようとしています。

この活動で、地域の子どもたちへの啓発のみならず、県内外のみなさんに大多喜町周辺の南房総に眼を向けていただけたらと思います。

EC千葉の会員各位には開催スタッフとしての参加協力をお願いします。

(大多喜町プロジェクト担当 國廣隆紀)

EMS 支援センター2023 年度活動方針

—新たに追加または中断することなく、昨年度と同様の活動を行う。—

1. 環境マネジメントシステム、地球温暖化やSDGsなどに関する有効な知識の習得を目的として、毎月のEMS支援センター連絡会に先立って、会員講師による研修会を都度開催する。
2. EMS支援センター活動のスムーズな業務運営を目的として、業務経過報告、予定する活動の具体的な要領に関する意見交換、関連する情報交換などの連絡会を毎月の研修会に引き続いて行う。
3. すでに予定しているセミナー・講習会は次の通り。
 - 1) エコアクション21普及セミナーの開催
 - ・2023年8月30日(水)午後、千葉商工会議所 14階第2ホール
 - 共催：(一財)千葉県環境財団、千葉商工会議所
 - 内容：基調講演、事例紹介2件、およびEA21認証取得の説明
 - 2) 企業環境セミナーの開催
 - ・2023年10月25日(水)午後、千葉商工会議所 14階第2ホール、共催：千葉商工会議所
 - 内容：基調講演と事例紹介2件
 - 3) ISO内部監査員養成講座の開催〔千葉商工会議所との共催〕(講師：EMS支援センター会員)
 - 場所：千葉商工会議所 14階第2ホール
 - ・ISO 14001： 2023年6月14・15日、および11月15・16日
 - ・ISO 9001： 2023年6月27・28日、および11月29・30日
4. 外部との協力活動
 - 1) ISO内部監査員養成講座への講師派遣
 - 千葉県職業能力開発協会からの要請を受けて講師を派遣する。
 - ISO 14001講座が1回(7月)、ISO 9001講座が2回(9月&1月)の予定。
 - 2) エコアクション21地域事務局千葉県環境財団への非常勤事務局員を派遣して地域事務局のEA21普及業務を支援する。
 - 3) 上記のセミナー&講座の共催団体および後援団体を軸にして、外部との協力関係を維持する。

環境マネジメントシステムの普及とより有効な活用を第一目的として活動している。例えば、エコアクション21の県内地域事務局での新たな認証取得は2020年度が4社、2021年度が3社、2022年度が2社であった。もう少し多くあってほしいところである。今一層の工夫を試みたい。

(EMS支援センター長 山畑祐哉)

2023年度 環境学習センター3つの柱

【会員が互いに共有し高め合える貴重な財産、それが〈みんなのひろば〉】

- 1) 目指すは、EC千葉全員が共有し合える〈みんなのひろば〉。
 - ・他では聞くことの出来ない豊富で広い情報と知識の詰まった話題。
 - ・話を聞く前と聞き終わった後の違いが分かる内容
 - ・このような機会はそう簡単に他では得られないのではと感じる。
- 2) 聞けずに残念！と思ってもらえる〈みんなのひろば〉に。
- 3) 話題を提供するための学びは、何よりも自分自身の糧と幅に、かつ、聞いた方々からの思いがけない反応と多様な意見、どれもみんな貴重なものばかり！逃したらもったいない!!
- 4) いずれ機会を見て、EC千葉の他の部やセンターとも連携し合い、公開講座(講演)を視野に、他団体とのコラボも試みたい。

【今年度も実施したい自然観察会】

- ・今年度は、「小湊鉄道で行くチバニアンとその周辺散策」(案)が狙上に。
- ・昨年度〈行ってみたい所2位〉。知られざる秋の養老溪谷スポットも、担当が併せて考えてくれている様子、乞うご期待!!
- ・昨年度、機会を逃した方は今年度の情報をお見逃しなく。
- ・夜来の雨が上がり、薄日に映える紅葉に感動の顔～顔～顔。
昨年度自然観察会(歴史探訪)「戸定ヶ丘歴史公園と千葉大園芸学部洋式庭園」参加者からの感想はHPに掲載、ぜひご一読を。

【地方自治体や公民館等の講師派遣と啓発活動】

- 1) 昨年度に引き続き、今年度も講師派遣依頼をいただけるに足るだけの、ニーズに沿った質の高い充実した内容であるよう努力を重ねたい。
 - ・近年は、講師派遣依頼先からのリピート講演要請と講師指名と共に、近隣市町村や近隣公民館からの依頼も顕著になってきている。
 - ・講師のみなさんのご努力がそうした派遣依頼等に繋がっていることを思うと同時に、EC千葉活動そのものの評価になっていることの証左でもあると考えている。
- 2) 今後の課題は、講師陣の増加と充実である。
 - ・多様化・多角化する世情に生きる参加者へ派遣される講師は、勢いそれらのニーズに応え得る質と幅が求められるものになっている。
 - ・従って、講師となる私たち自身の学びは非常に重要、しかもその学びにより最も恩恵を受けているのは私たち自身かもしれない。

(文責：環境学習センター長 佐藤ミヤ子)

地球温暖化対策センター2023年度活動方針

地球温暖化の問題は言うまでもなくグローバルな事象である。従って、この解決には世界レベル、政府レベル、産業レベルの対策が極めて重要であり、そのための技術開発、産業構造の改善等が必要であり、それと同時に個人レベルでの細かな対策も同時に必要とされる。しかし、個人の生活に関わる対策、具体的には省エネ、省資源等であっても個人の努力だけで出来ることには限度がある。従って、「足らぬ足らぬは工夫が足らぬ」とか「贅沢は敵だ」といった実生活の不便を耐えさせるような後ろ向きの対策ではなく、不便を極力減らしたうえで真に効果がある対策を考え、普及するために何が出来るかを環境カウンセラーとして考えるべきであろう。個人が発生する二酸化炭素も発生源の多くは、産業により製造された家庭製品であることが多い。従って、これらの機材の性能向上が最も重要であり、これには産業界の技術革新が必要である。しかし、それと同時にそれらの機材の使用法の改善などのように利用者としての一般市民が実施できる対策もある。これらの対策については一般市民への啓発だけでなく、産業界、行政、特に地方自治体などと連携してゆく必要がある。従って、個人レベルでは住民として居住している四街道市だけでなく、近隣の千葉市、千葉県のような有力な自治体とも手を携えて協力するよう努力すべきだと考えている。

(地球温暖化対策センター長 阿部勲夫)

廃棄物対策センター2023年度活動方針

1. 活動の意義について

1998年第18回長野オリンピック冬季大会が開かれ、大会期間中3週間会社の永年勤務休暇を使ってボランティアを行った。オリンピックも一段落した2003年からはこれからは、環境問題が一番の問題になると思い、環境カウンセラーを取得して地元白井市で活動してきた。廃棄物対策の循環型社会構築は喫緊の課題として取り組まなければならない、大きな取組みテーマとなって来ている。こういう状況の中、3年間コロナ禍で翻弄されてしまい、活動の意義をもう一度再構築する良い機会と捉える。

2. 期待される効果

EC 千葉内で一から勉強会や見学会等の活動を行う。25周年を振り返り原点に戻り地道に取り組んで行きたい。昨年出来なかった廃棄物処理施設の見学会を実行したい。また、プラスチックの削減で再資源化の推進のために見学会等計画する。更に食品ロスの仲間を増やし、自治体と連携する活動を計画して行きたい。それらの活動をするきっかけとして先ず県庁との意見交換を行いたい。

出来ないとおきらめてしまつては、何も始まらない。交流する中で循環型社会を感じられることが期待される効果である。

3. センター長に就任しての抱負

廃棄物と言うのは身近な問題であり、循環型社会とするには、廃棄することだけではなく循環型にするように商品開発や社会の仕組みを構築しなければならない。プラスチックごみのように回収まで考えられた仕組みを導入しなかったばかりに海洋投棄され、魚や生態系に影響が出ている。結局は巡り巡ってお金もかかるし、健康被害も大きくなってしまう。

出来ることは小さいかもしれないが、行動し、声を上げていくことが大事だと思うので頑張っていきたい。小さいことから一緒にやってみようではありませんか！！

(廃棄物対策センター長 中嶋 滋)

水環境対策センター2023年度活動方針

2023年度も持続性のある活動を目指し、小学校の「水環境体験教室」や浄化槽使用者向け「講習会」への講師派遣をおこない、さらには水環境に関する「市民環境講座」や「環境学習」、水環境関連施設見学会の企画実施に取り組んでいく。具体的には、「水環境体験教室」ではこれまで実績のある野田市、白井市、市川市などのリピート対応を中心とし、さらに対象地区を拡大するべく、可能性のある新たな小学校へのアプローチを考えたい。浄化槽使用者向け「講習会」は、千葉県環境生活部水質保全課主催の「講習会」がここ数年間、台風災害やコロナ禍の影響を受け実施されていないため、新たにSDGsを絡めた「水環境体験学習」などを提案して、「講習会」が実施できるよう各担当者へ働きかけていく。

講習会で使用するテキスト・パワーポイントは、対象地区の情報・知見を盛り込んだ内容へ更新していく。

浄化槽啓発講習会や水環境体験教室の活動内容をホームページで一般公開し、広く一般の方からの情報が寄せられるようにすることで、水環境への関心を高め、同時に我々の活動をアピールする。

水は自然界で循環しています。私たち生物にとって、水はなくてはならない大切なものです。生活や物の生産で使った水はきれいに浄化し、自然界に返す使命があります。子供から大人まで、水の大切さと浄化する仕組みを学び実践すること。その気づきとなる「環境学習」の場を継続提供していくことは、環境カウンセラーの役割です。

水環境対策センターでは、“身近な水環境を守る”活動を持続させるため、『水』に興味がある多くの方々の参画を待っています。

(水環境対策センター長 井町臣男)

2023年度 うちエコ診断活動方針

2016年に環境省の認定を受けてから7年が経過し、なんとか「うちエコ診断実施機関EC千葉ネット」として滞ることなく継続した事業として「うちエコ診断」を実施して来ました。しかし、一般の家庭や民生部門として認知されているかと問われると、満足な結果であるとは言い難いと反省しております。

折しも、ウクライナへのロシアの侵攻により、エネルギーや食料の供給不安から、電気代、ガス代、ガソリン代と、昨年から続く値上げ攻勢、更にこの6月からの電力大手の一斉値上げなど、省エネ機運がMAXにきております。

今年度も、「気候危機宣言」対策の一助として「千葉市地球温暖化対策地域協議会」主催による補助金による「CO2排出削減と光熱燃料費節約」の普及・啓発事業として「うちエコ診断」事業を実施する予定です。これまで7年間の「うちエコ診断後の効果」として、千葉県内の一世帯当たり平均で光熱費節約率が20.6%、CO2の平均削減率は17.8%でした。

家族構成（属性）による削減率の違いなどがあるものの、事後の満足度調査アンケートでは、「省エネに役立った」「意識が変わった」というようなコメントを多数頂いております。

千葉市在住・在勤の方に限定されますが、「ちばしエコチャレンジ」500ポイント付与の特典もあります。今年度の活動計画は以下のとおりです。

【特典と実施概要】

1. 主催：千葉市温暖化対策地域協議会（千葉市脱炭素推進課）
2. 「ちばしエコチャレンジ」（千葉市HP）からお申し込みの方には、
受診後【ちばしエコチャレンジ】（500ポイント）を付与します。
3. 申込受付：2023年7月1日（土）～2024年2月10日（金）（先着30名）
4. 診断方法：オンライン診断（ZOOM仕様） または 対面診断（希望により実施）
5. 診断場所：オンライン診断はご自宅と診断士、実施機関（ホスト）との3者連携、
対面診断は通常、千葉市民活動支援センター等を使用。
6. 申込方法：【ちばしエコチャレンジ】あるいは下記のチラシのURLから直接申し込みが簡単です。

【それぞれのご家庭の光熱費削減の具体例を「うちエコ診断」が見つけてくれます!!】

この機会に、娘さん・息子さんご家族にも、また、友人知人にも受診をお勧めください。

お役に立てる具体案を「うちエコ診断」から見つけていただけたらと思っています。

（「うちエコ診断実施機関EC千葉ネット」責任者 吉田 昌弘）

【会員情報】「大西優子」様(船橋市) 令和5年度環境大臣表彰を受賞

私たちの会員仲間である大西優子様、「船橋のカザグルマをまもる会」からの推薦により令和5年度地域環境保全功労者として環境大臣から表彰されました。地球温暖化防止活動やカザグルマの自生地の保全など、長年にわたり地域の環境保全に多大な貢献をしてきたことが評価されました。

環境カウンセラーとしての長年にわたる活動に敬意を表し、あらためてお祝い申し上げます。

環境公開講座 総会特別講演会（第29回環境セミナー）

演題：「熱帯の海と異常気象」

講師：国立研究開発法人海洋研究開発機構 特任上席研究員 東京大学名誉教授 山形俊男氏

日時：2023年5月21日（日）13:30～15:10

会場：千葉商工会議所会議室（オンライン（Zoom）配信を併用）



地球温暖化対策問題は、今や、集中豪雨や異常高温等の異常気象が急増している。今回、海洋物理学や気候力学の分野において、様々な気候海洋変動現象のメカニズムの解明で世界を牽引してきている山形名誉教授をお招きしての講演は、正に機を得たものになりました。

参加者は、会場19名とオンライン聴講23名とで合計42名（うち、当会会員24名）におよび、当会の会員でない方々も多数参加されました。特に一般の参加には「千葉県地球温暖化防止活動推進員」から多くの方に聴講いただきました。

当日、山形講師のお話は、まず、世界中で多発する異常気象、熱波、猛暑・酷暑、干ばつ、集中豪雨、洪水、大型台風、高潮、寒波、豪雪について多くの写真をパワーポイントで示され、身近な話題から始まりました。

そして、多くの方が間違いやすく誤解されがちな「気候の変化」と「気候の変動」の違いのお話しから、専門分野の日本の季節に異常をもたらす熱帯起源の気候変動現象である「エルニーニョ現象」、「ラニーニャ現象」、「正のダイポールモード現象」、「負のダイポールモード現象」、「エルニーニョ・モドキ現象」、「ラニーニャ・モドキ現象」について、解析データや多数の図を用いて、太平洋とインド洋の海洋現象について分かり易く説明していただきました。内容が豊富で講演時間90分間はあっという間に過ぎました。



最後に、今回の講演から学んだこととして、

気候変動は、大気・海洋・陸との間での自然界の変動ですが、人間活動の影響が大きく、起きている異常気象は大きく、影響は海洋に起因することが多いため、長期に及ぶ、そのため、これからの地球には、「適応力」「強靭力」が益々重要になってきている。従って、異常気象を地球システムのメカニズムとしてよく知ること、変動データの因果関係を推定する技術による「気候変動の予測」が大事であることを貴重な学びとして受け止め、今後の活動に活かしていきたい。

（地球温暖化対策センター 副センター長 橋本正 記）

【参考】

(1) 山形博士の詳細な活動実績は、国立研究開発法人海洋研究開発機構 JAMSTEC の次の URL で見ることが出来ます。<https://www.jamstec.go.jp/apl/j/members/yamagata/activity.html>

(2) 山形博士講演のポイント（後日、振り返って勉強したノートの一部を参考に）

[1] 山形博士の発言⇒異常気象への適応が重要

地球物理学者の寺田虎彦氏（1878-1935）の話が出てくる。

(1) 自然の威力を畏れ、その命に逆らわぬよう用意せよ。

(2) 「地を相する」（土地の形勢を判断せよ。）……「地相」

（人相、手相は使われているが、地相は忘れられている。）

風水害に遭わない土地、自然災害に遭わない土地の判断（竹村公太郎も記している。）

(3) 自然から学べ。自然は最良の師（言志四録 江戸時代の佐藤一斎）

[2] 異常気象の原因は、大気海洋システムに内在する気候変動である。

⇒地球温暖化の影響（海洋の温暖化による水蒸気蒸発）で大気に含まれる水蒸気が7%も増加。

⇒気候変動の強力化、極端化による異常気象は避けられない。

⇒異常気象に対する的確な予測、社会も経済界も適応化、強靭化が必要。

環境大臣表彰

毎年6月の環境月間に行われる環境大臣表彰で本年は当協議会理事(第5代理事長)國廣隆紀様が「地域環境保全功労者」として表彰されました。EC千葉において長年にわたり地球温暖化対策等の環境保全活動や中小企業の環境経営支援に私たちのリーダーとして活躍されるとともに地元袖ヶ浦市においても地域協議会の設立や環境審議委員を務める等、地域の環境対策の推進に積極的に取り組んでおられることが評価されたものです。今後ますますご活躍され、私たちを指導・牽引していただくことを期待しております。

千葉県知事表彰

6月12日に行われた令和5年度千葉県環境月間表彰式において、当協議会水環境対策センター副センター長・久保田隆様に熊谷知事から「千葉県環境功労者知事感謝状」が授与されました。久保田様は、当協議会が千葉県との協働事業として「浄化槽講習会」をはじめた平成21年度から毎回講師を務め、累計70会場で1,500名を越える県民に浄化槽とこれに関連しての水環境保全の啓発を行ってきました。この地道なご努力が評価されたものです。今後水環境体験教室の開催等に活動を広げ、ますますのご活躍をされるよう期待しております。

【訃報】故松村利治様 (2023年5月19日ご逝去)

故松村様は、2005年から2023年まで18年にわたり当協議会の理事を務められ、この間に総務部長、環境学習センター長、EMS支援センター長、副理事長の重責を担い、EC千葉の発展にご尽力いただきました。これからも高所から私たちの活動をリードしていただくことを期待していましたが、大変に残念なことになってしまいました。これまでのご指導に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

新入会員紹介

石松成子 (いしまつ しげこ) 君津市

教育委員会から依頼を受け小学校の出前授業や教員研修、地元の公民館などで自然観察やクラフト作りの講師をしています。身近な自然に触れながら生態系を学び、共存する大切さを伝えています。現在、環境破壊がこのまま続くと、【ビック6】人類は滅亡へ向かっていると言われてしています。

未来の子どもたちから「なぜ何もしなかったのか」と、問われないためにも真剣に考え行動を起こさなければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

総務部からのお礼

2022年4月～2023年6月の間に下記の方から当協議会へご寄付いただきました。

ありがとうございました。

中村 仁 様 4,000円

河井 恵子様 12,000円

吉田 昌弘様 5,000円

広報 環境カウンセラーちば 第61号 (発行日 2023年7月20日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (責任者：広報部長 山畑祐哉)
(編集担当：服部達雄)

事務局：〒273-0047 船橋市藤原6-1-7

(E-mail) ecchiba_jimukyoku@ecchiba.sakura.ne.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)